

「由利本荘の名工展」
伝統と現代の融合 名工の技術と美の継承



本荘組子細工



本荘御殿まり



本荘塗り



本荘こけし



本荘刺し子

令和6年

開催期間 **4/20** **土** - **8/25** **日**

本荘郷土資料館

〒015-0011 由利本荘市石脇字弁慶川5 TEL0184-24-3570

開館時間：午前9時から午後5時 休館日：毎週月曜日 ※ただし月曜日が祝日の場合は翌日 入館料：大人100円/学生以下無料/団体20名以上で一人50円

「由利本荘の名工展」

～伝統と現代の融合：名工の技術美の継承～

「本荘の名工展」は、由利本荘市の輝かしい伝統工芸を称えるとともに、名工たちの尊厳と卓越した技術を実感できる特別な企画展です。展示の「本荘こけし」・「本荘塗り」・「本荘ごてんまり」・「本荘組子細工」・「本荘刺し子」などの作品は、本荘の名工たちが培ってきた技術と選りすぐりの素材を駆使して生み出された素晴らしいものです。これらの作品は、単なる美の追究にとどまらず、その奥に潜む名工たちの感性や思考、熱意と技術の結晶が地域の歴史・文化と深く融合されています。だからこそ一層の輝きを放ち、次世代へと継承すべき不可欠な価値を実感させられるのです。

これらの展示作品を通して、由利本荘市の工芸文化の豊かさに触れるとともに、伝統工芸のもつ不易と流行の魅力をご堪能いただきたい。そして、この企画展が本荘の名工たちの魂を受け継ぎ、未来へ向けた新たな創造の可能性が広がることを願っています。

【本荘こけし】

【本荘塗り】

【本荘御殿まり】

【本荘組子細工】

【本荘刺し子】

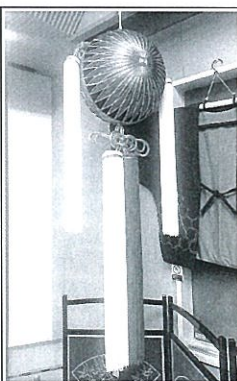


本荘こけしは秋田県伝統的工芸品に認定されました。

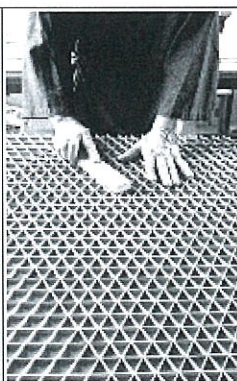
鳴子系のこけしは120年以上の年月を経て受け継がれています。



平成6年に廃業した本荘塗りますが、創始者の北島三郎さんは、当時日本の名工と言われ、多くの作品を残しています。



本荘ごてんまりは、由利本荘市で生産されている、独特の刺繍を施した球体の三方に房をつけた手工芸品で、現在も高い人気があります。



秋田杉など良材に恵まれた本荘には、建具・家具・指物などの優れた職人がいます。

建具組子の高い技術は他にはない技術です。



親から子・孫、姑から嫁へと受け継がれてきた刺し子の技術。本荘刺し子は、麻の葉・七宝・紗綾の三種で吉祥を表しています。